

■**権田直助** 国学者、神道家。維新直後に教授になるも洋学者に追われ幽閉、赦免後、平田門重鎮として門人多数。
ごんだなおすけ
浮世風呂・・・1809＝ 武蔵国入間郡毛呂本郷(埼玉県入間郡毛呂山町)の医者権田直教・久良子の子として生まれた。

水野忠成老中1818＝ 9歳：

異国船打払令1825＝16歳：父を失い、

日本外史・・・1827＝18歳：江戸に出て、幕府の医官野間広春院に漢方医術を学び、また安積良斎に就き儒学を学ぶ。

のち諸国を歴遊して故郷に帰り、医を開業したが、

漢方治療に疑問を感じ、大洗磯前・酒列磯前両神社に参籠、神意を得て皇朝医学を志し、

・・・1836＝27歳：

大塩平八郎乱1837＝28歳：平田篤胤に入門して日本古典の研究に没頭、

また古医道究明にも努め、国学思想を基礎とした「神遺方経験抄」を著わし、いわゆる「皇朝医学」を唱えたが、内容は古医方に同じといわれる。

阿部正弘首座1845＝36歳：

ペリー来航・1853＝44歳：

開国開港・・・1854＝45歳：

幕府政治が混沌としてくると、

桜田門外変・1860＝51歳：

生麦事件・・・1862＝53歳：京都に上って尊攘運動に加わり、平田派の一員として公卿らの間に活動。

8月18日政変 1863＝54歳：

大政奉還・・・1867＝58歳：西郷隆盛による関東擾乱工作(江戸薩邸に抛る相楽総三らの活動)に関与。

明治維新・・・1868＝59歳：明治維新後は、

戊辰戦争終・・・1869＝60歳：*平田鉄胤らと神祇伯白川家の教授となり、また刑法官監察司知事に任ぜられ、建言を採用され大学中博士、医道御用掛となったが、当時早くも国学者・漢学者と洋学者との間の対立・論争が起り、平田鉄胤・矢野玄道らとともに大学を追われた。

廃藩置県・・・1871＝62歳：愛宕通旭らの公卿および攘夷派士族を中心とした反政府陰謀が発覚(愛宕通旭事件)、その嫌疑を受け、矢野玄道・丸山作楽らとともに捕えられ金沢藩邸に幽閉される。その間、国語古典の研究に専心し、

学問のすすめ1872＝63歳：有免され、

明治6年政変 1873＝64歳：*相模国大山阿夫利神社祠官となり、同時に大講義に任ぜられる。

以後、没するまで大山に住むことになる。

琉球処分・・・1879＝70歳：権大教正に進み、伊豆三島神社宮司を兼ねる。

明治14年政変1881＝72歳：伊豆三島神社宮司兼職を解かれ、

新体詩抄・・・1882＝73歳：皇典講究所教授、

秩父事件・・・1884＝75歳：*神道事務局顧問・大教正となり、

あるいは神道本局編輯掛を担任するなど、明治前期の神道界・国学界に重んぜられたが、

国民之友始・・・1887＝78歳：病となり、没した。

「古医道治則」「古医道脈伝」「古医方或問」「神道方経験抄」「千重之比登辺」「傷寒論綱領解」「医道沿革考」「西洋医説弁」など多数。

平凡社百科事典、